

大阪府社会福祉協議会 保育部会 発行の 保育おさか 令和4年10月号 (No.566) にペガサス第二保育園が掲載されました。ぜひご覧ください。

http://www.niji-tumi.net/admin_wp/wp-content/uploads/2022/10/hoikuosakaNo566.pdf

保育園・認定こども園をたずねて (北摂・堺)



▲おそろいの「くじらTシャツ」

子どもたちが体を動かせる機会として、体育教室やダンス教室を取り入れています。教室の日、子どもたちは

千里くじら保育園は、平成30年4月に、吹田市千里山虹が丘に開園しました。定員は102人。坂の多い小高い場所に位置しています。周辺は昔から桜の名所だったそうです。園の名前の通り、子どもの心も体も夢も「くじら」のように大きくなるようにという保育理念のもと、めざしている子ども像は、①自分の力で生き抜くことも②夢に向かってがんばることも③地域を愛することもです。保育方針は「基本的生活習慣を家庭と一緒に築いていく」、「個々のやりたいことを達成できる伴走者となる」、「地域の自然とのかかわりを持ち、感謝の心を育てる」など、保護者、地域、保育者がひとつとなり、子どもたちの成長の手助けをしていくことをめざしています。

子どもたちが体を動かせる機会として、体育教室やダンス教室を取り入れています。教室の日、子どもたちは「今日も楽しかった、くじらに来てよかったと園児や職員みんなが思えるような園でありたい」と園長は語られました。

開園してまだ数年の園ですが、二日のはじまりは笑顔からと笑顔のあるあいさつをめざし、「今日も楽しかった、くじらに来てよかったと園児や職員みんなが思えるような園でありたい」と園長は語られました。

林美穂園長は「医療法人と社会福祉法人による地域貢献とは何かと見つめ続け、地域福祉の向上に努めております」とおっしゃいました。

笑顔のある園をめざして

千里山くじら保育園



保育園・

認定こども園をたずねて 627

地域に想いを重ね絆を紡ぐ

ペガサス第二保育園

吹田市

堺市

みんなおそろいの「くじらTシャツ」を着て参加するのを楽しみにしているそうです。練習の成果は10月のくじらフェス(運動会)で発表し、保護者の方に見ていただいています。千里山くじら園は「子どもたちに、安全で伸びのびと楽しく活動できる保育環境を提供したい」と願っています。そのためには、施設内の遊び場や生活の場の充実と、保育者が楽しいと感じられる保育の創出が大切だと思います。

ガサス第二保育園は、平成25年4月に開園しました。子ども一人ひとりの「今」をそして心を大切に、「保護者や地域社会と共に全ての子どもが人間らしく生きるための基礎となる力を育てる」を教育・保育理念としておられます。子どもたちの住んでいる地域がどのようなところなのか、保護者の方がどのような思いをもっているのかを知り、それを教育・保育に生かすために全園児の家庭訪問からはじめます。食育も大切にされており、園で借りた農園で野菜を育て、自ら収穫した野菜を家庭で食すという、生産から消費までを体験できるような工夫されています。今年度からは体力の向上をめざして朝の30分にリズム体操や雑巾がけを取り入れられました。

平成30年4月には、堺市ではじめて誕生した医療的ケア児と健常児と一緒に過ごす小規模保育園としてペガサス保育園つばさを開園されました。医療的ケア児とは、痰の吸引や栄養剤注入などの医療的ケアの継続が必要な子どもであり、同園には看護師が常駐し、子どもたちの健康を支えています。また、小児科の専門医にいつでも相談できる体制や、グループ法人である医療法人の専門家のサポートにより、医療的ケア児と健常児がともに安心して成長できる保育を展開されています。



◀開放感のある園舎

医療的ケア児に必要な酸素ボンベや吸引の機械 ▶